

卒業生が旅立ちました



3月6日(水)に、「第75回卒業式」を無事に終えることができました。保護者・来賓の皆様におかれましては、多くの方々にご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

厳かな雰囲気の中で行われ、一人ひとりが丁寧な所作で卒業証書を受け取り、お辞儀をしたりする様子は本当にすてきでした。式の最後には、「VIVA白山フェスタ」や「3年生を送る会」で披露してきた合唱曲『友 ~旅立ちの時~』を歌いました。こらえきれずに涙を流している卒業生の姿が大変印象的でした。「こもれび学年」らしく温かい雰囲気に囲まれながら、これ以上ない『笑顔』で旅立っていきました。卒業生の皆さんの更なる成長を心よりお祈りしています。

答 辞

※原稿を一部抜粋、改稿



『こもれび』という学年目標の下、日々を過ごしてきました。月日は、とても濃密でたくさんの出来事が昨日の日のように思い出されます。今日まで、時には傷付け合うこともあったけど、励まし合い、力を合わせて共に成長してきました。

2年生の夏。無事に開催することができた稲武野外学習。スローガンである「全力少年」という火文字が暗闇に照らし出されたキャンプファイヤー。辺りが暗くなっていく中、盛り上がりはヒートアップ。実行委員が考えたレクは、どれも楽しく、僕たちの『こもれび』という居場所が、さらに大きくなりました。クライマックスはトーチワリング。観ている人から自然と手拍子や感動の音が…。そんな感動と同時に、この楽しい時間が終わってしまうという喪失感で胸が一杯になったこと、涙が込み上げてきたことを今でも鮮明に覚えています。

中学校生活の一大イベントである修学旅行。初日はあいにくの雨でしたが、新幹線の僕たちに心配や不安の声はなく、楽しむ気持ちしかありませんでした。傘をさすのも忘れるほど夢中になり、友達と一緒にUSJ内を走り回ったこと、夜更かしするつもりが思いのほか疲れていて、すぐに眠ってしまったことも、今では大切な思い出です。

中学校最後の「スポーツフェスティバル」と「VIVA白山フェスタ」。生徒会長という立場で一番力を入れた行事であり、最後に懸ける想いは人一倍でした。生徒会での度重なる対立と話し合いを重ね、迎えた当日。今年度から名称を変え、学年の枠を取り除いたことで、例年にないほどの声援が飛び交いました。最後の「VIVA白山フェスタ」。最高のパフォーマンスをしようと、ダンスの練習に精を出しました。迎えた当日。まさかのインフルエンザ。練習してきた日々を思い返すと、無力感で胸が張り裂けそうでした。でも、生徒会として創り上げてきて思うことがあります。それは、自分が頑張ってきたことが人の『笑顔』につながるということです。力を出し切ったすべての行事に悔いはありません。

在校生の皆さん。「3年生を送る会」とても楽しかったです。また一つ、大切な思い出が増えました。本当にありがとうございます。中学校生活は、長いようでとても短いです。だから、自分と正直に向き合って、一つ一つの選択に悔いが残らないようにしてください。そして何より、今、自分の周りにいる仲間のことを大切にしてください。皆さんのこれからの中学校生活が、『笑顔』で満ち溢れることを願っています。

いつもフレンドリーに接してくださった先生。常に私たちのノリに乗ってくれ、私たちの『笑顔』を最優先に考えてくれました。道を踏み外しそうな時は、しっかり叱ってくれました。先生たちが、いてくれたからこそ『こもれび学年』だと思っています。私たちの可能性を信じ、ずっと向き合ってくれた他の中学校には、決していない最高の先生方。先生方の下で学べたことを幸せに思います。三年間、本当にありがとうございました。

いつも、誰よりも側にいて支えてくれたお母さん。進路のことや、日常の些細なことで衝突することもたくさんあったけど、誰よりも応援してくれました。いつも味方でいてくれただけで勇気がもらえました。普段は素直に言えないけれど、今日まで育ててくれてありがとう。これからは、僕が少しでもお母さんを支えていけるよう頑張ります。

『こもれび学年』のみんなへ。授業では、笑いが響き、レクをやれば、毎回想像以上に盛り上がる。みんなとの生活は『笑顔』に包まれた毎日でした。みんなと創り上げてきた『こもれび』のような温かい場所を僕は誇りに思います。ここで学んだことを生かして、ゆっくりと新たな道へ進んでいくことを誓います。改めて胸を張って言います。「『こもれび学年』は、最高の学年です!」そして、「白山中学校は、最高の学校です!」今まで本当にありがとう。

人権学習発表会

3月15日(金)

会の冒頭では、生徒会から人権とは何かを改めて確認しました。人権とは、「幸せに人間らしく生きていくための」権利…それを白山中学校の努力目標「笑顔で生きる」権利に置き換えて、分かりやすく説明する映像が流れ、各学年の発表へとバトンが渡されました。

次に、卒業した3年生の発表が映像で行われました。学年目標「こもれび」を意識して過ごした三年間を振り返り、個性を認め合いながら”みんなにとって居心地のよい暖かい場所”を築き上げた先輩たち一人ひとりの「こもれび」が発表されました。

続いて1年生の発表がありました。テーマは「いろいろ」。一年間の様々な行事や”中庭彩りプロジェクト”を通して見付けたいろいろな発見・気持ちを振り返りながら、大きな一枚のいろいろボードが完成していく映像が流れた後、一人ずつ決意表明がされました。お互いの頑張りを認め合い、多様性を大切にする姿に皆さんの大きな成長を感じました。



【各学年の発表の様子】

2年生の発表テーマは「つながり」。”ツルマアドベンチャー”に向けた活動を通して学んだことを各班が発表しました。ケア班は”身近な社会”とのつながり、クリエイティブ班は”仲間”とのつながり、プロデュース班は”イベント実施”に向けたつながり、マネジメント班は”世界”へのつながりを紹介し、最後に一人ひとりの振り返りが映像で流されました。人・モノ・社会などのつながりを通して、常に他者の立場を考えたり、良さに気付いたりしてきた、たくましい姿から、まもなく最高学年になる自覚を感じました。



どの学年も素晴らしい発表であったと感じるとともに、一人ひとりの人権感覚が着実に豊かになっていることを白山中学校全員で実感することができ、とても有意義な温かい会になりました。

人権は「誰もがもっていて、奪うことも奪われることもできない権利」です。その権利を守るには、他者を理解することが必要です。ただ、他者の気持ちというのは、目には見えないものであり、全てを理解することは難しいことだと思えます。だからこそ、発表会で皆さんが取り組んだように言葉で伝えたり、文字で書いたり、絵や映像で表現したり、様々なコミュニケーションツールを駆使して、できる限りの「想像力」を働かせ合い、互いに”理解しようとする気持ち”をもつことが大切だと思えます。これからも全ての人の『笑顔』を大切にしながら、「笑顔で学び 笑顔で生きる」学校、そして社会を実現していけるよう、ともに高め合い、成長していきましょう。

1年生 総合的な学習

中庭彩りプロジェクト

2学期から活動をスタートし、「ガーデニング」「デコレーション」「ものづくり」の各チームに分かれて、自分たちが過ごす中庭をより一層、居心地のよい空間にしようと、自分たちの手で彩っているところです。1年生の課題解決型学習(PBL)の一環で、今後も継続していく予定です。



【ガーデニング：花壇への植樹】



【デコレーション：通用門の塗装】



【ものづくり：プレートの製作】